

# 屋内運動施設等の設置に係る検討会での意見

## 1 屋内運動施設等の整備に関する検討会等の開催

- 1 庁外委員による検討会（第1回）
  - (1) 開催日時：平成26年3月25日（火）
  - (2) 場 所：開成山野球場会議室
  - (3) 出席者数：10名（欠席3名）
- 2 市長と菊池信太郎氏との懇談会
  - (1) 開催日時：平成26年3月27日（木）
  - (2) 場 所：市長室
  - (3) 出席者数：5名（市長含む）
- 3 庁内委員による検討会（第1回）
  - (1) 開催日時：平成26年4月7日（月）
  - (2) 場 所：多目的ホール1
  - (3) 出席者数：11名（欠席2名）
- 3 庁内委員による検討会

## 2 屋内運動施設等の整備にあたっての主な意見

### 1 現状認識・現状課題

#### 【現状課題】

○震災後、原子力災害の影響等により屋外活動が制限された結果、子どもたちは肥満傾向にあり、併せて運動能力も低下傾向にある。

○子ども達の発達段階に応じた運動施設を提供する必要がある。

#### 【保護者の意見】

○親の感情として、砂遊び・泥遊び等の外遊びにまだまだ不安がある。

○屋外で風を切って走りたいと言っている子どももいる。

○転びやすい、まっすぐ走れない子どもが増えている。

## 2 屋内の運動施設の整備

- 施設数は4箇所こだわらず、良いものをつくれれば1箇所でもよい。
- 復興のシンボルとなるような大規模な屋内運動施設を整備し、子どもから高齢者(障がい者を含む)まで幅広い世代が利用できる施設とした方がよい。
- 運動が得意な子はもとより、不得手な子にとっても運動してみたいと思わせる施設づくりも必要。例えば、1年を通して利用できるドーム型の屋内運動施設も必要と考える。
- 日大工学部が提唱しているロハスや産業技術総合研究所の協力による再生可能エネルギーを取り入れた施設とし、遊びと学びを一緒にできる仕組みづくりが必要。
- 幅広い世代が利用できるソフト事業の整備も重要。
- 立地条件としては、開成山などの市街地が良い。
- 小規模のものを数箇所整備するより、規模の大きいものを整備した方が、社会情勢の変化に対応

## 3 屋外の運動施設の整備

- 公園の除染を行ったが、除染はマイナスをゼロにするものであり、人を集める要因にはならない。既存の公園等をリニューアルするなど、楽しく遊ばせるための仕掛けが必要だ。
- 震災後、公園で遊ぶ子どもが減少した郡山市では、親子が集い、思い切り体を動かし、そして体力の向上が図れる新たな公園づくりが必要と考える。
- 屋外で思い切り遊べる場を提供したい。
- 立地条件としては、開成山などの市街地が良い。

## 4 郡山市のこれまでの取り組み

- 公共施設の無料開放 (H23年6月～)
  - ・ 38施設で無料開放実施
  - ・ H25年度実績＝延べ158団体 (内訳＝幼104、保54)、利用者数：延べ12,127人、使用日数：135日
- のびのびちびっ子広場IN夏出 (H23年8月～)
  - ・ H25年度実績＝利用者数：延べ8,188人、会館日数：346日
- ペップキッズこおりやまの運営 (H23年12月～)
  - ・ 総利用者数＝774,442人 (H26年3月末現在)
- 大型遊具の巡回事業 (H23年12月～)
  - ・ H25年度実績＝利用者数：10,570人、(20施設、140日間)
- 幼稚園・保育所等の遊具更新 (H25年度～)
  - ・ 42施設、258基について、交付申請を実施。

# 屋内運動施設等の設置に関する意見の集約

## 1 屋内運動施設の整備

### (1) 方向性

- ・大規模な屋内運動施設の整備

### (2) 施設規模

#### ①約6,500㎡（ソフトボールができる大きさ）

##### ○利用可能なスポーツ等

ソフトボール、少年野球、フットサル3面  
サッカー半面、ランニングが可能

例：アイザックスポーツドーム（富山市）

メリット：幅広い年代での活用が可能

デメリット：建設費用が多額



アイザックスポーツドーム（富山市）

#### ②約1,200㎡（中学校の体育館程度）

##### ○利用可能なスポーツ等

フットサル1面、ふわふわドーム

ロッククライミング

例：わんぱくキッズ広場（南相馬市）



わんぱくキッズ広場（南相馬市）

## 2 屋外運動施設の整備

### (1) 方向性

- ・屋外で運動できる施設の整備

### (2) 整備方法

#### ①屋外運動施設の新設

メリット：子どもの発達段階に応じた整備が可能

デメリット：整備費用が多額

#### ②既存の公園などのリニューアル

メリット：整備費が比較的小額

デメリット：新設に比べて発進力が弱い



公園のリニューアル



ぴよんぴよんドーム(福島市)



アスレチック遊具

### 3 施設整備に向けての課題

#### (1) 屋内運動施設の整備に関する制限

- ① 建設費・・・・・・・・華やかな施設を建設した場合、コストなどが多額となる
- ② 財源確保・・・・・・・・復興庁などの関係省庁との協議が必要
- ③ 法令的制限・・・・・・・・○総合公園における建ぺい率（2%）  
○地域によっては建物の建設が制限される地域がある など
- ④ 用地的制限・・・・・・・・市の公有財産を活用

#### (2) 整備候補地

##### ◆整備候補地の決定・公表（H26年1月）

- ・東部＝大安場史跡公園約（面積＝約65,000㎡）
- ・西部＝大槻公園（面積＝約277,000㎡）
- ・南部＝郡山カルチャーパーク（面積＝約87,000㎡）
- ・北部＝旧行健第二小学校跡地（面積＝約6,700㎡）